

第五十三回フオト旬会優秀作品(27年7月13日)

自由題



夏山の訪れ告げる

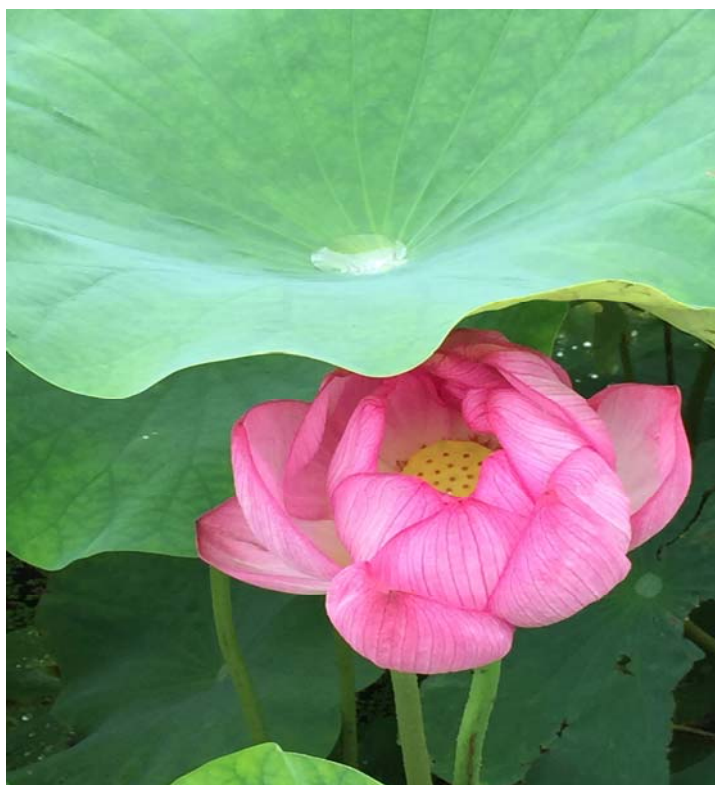
スピーカー 池田 隆

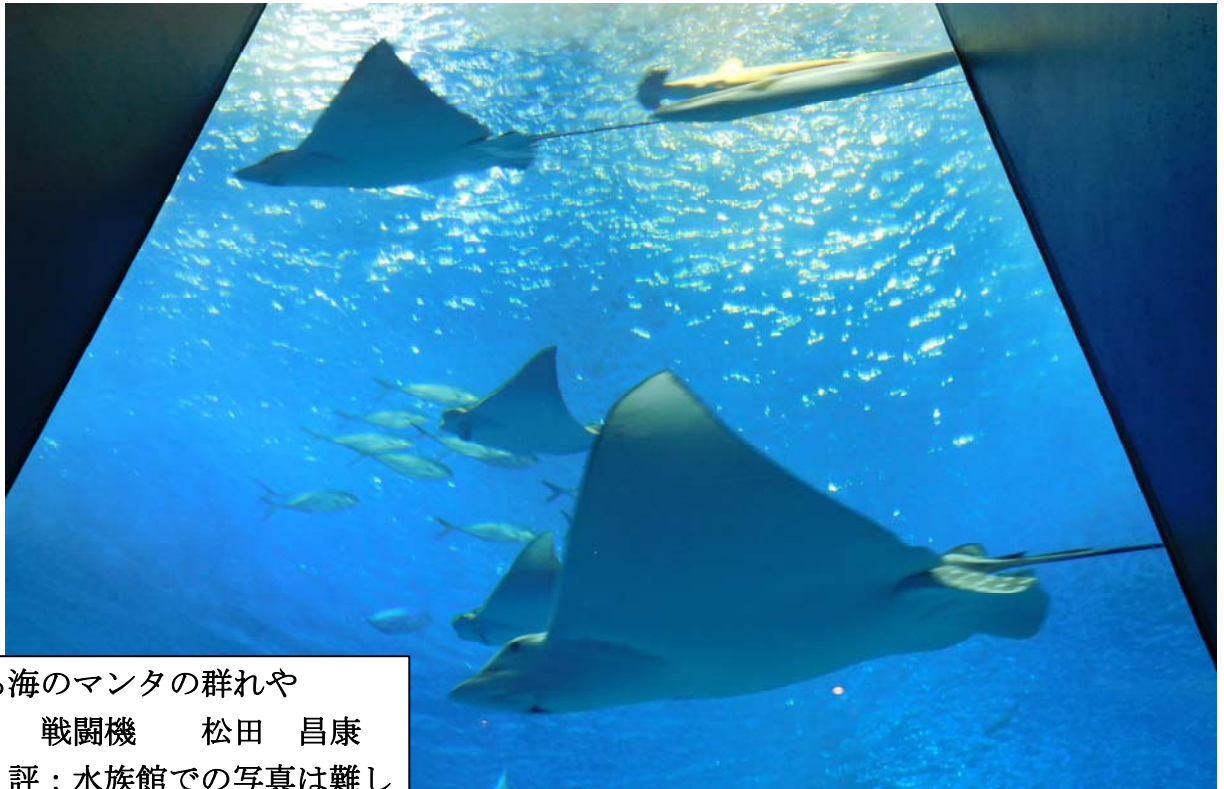
寸評：爽やかな初夏の風が感ぜられる落ち着いた作品。日光キスゲの花をスピーカーに見立てたのも良かった。

み仏と思えど他に

眼がくらみ 安藤 晃二

寸評：不思議なアングルの写真だがインパクトがある。句も不思議で誰が主語なのか判然としない。「仏様も頭上のダイヤモンドに眼がくらんだ」というのが作者の説明。得点が多いのも不思議。





美ら海のマンタの群れや
戦闘機 松田 昌康
寸評：水族館での写真は難しいのだが、綺麗な画像である。
沖縄の海ということでマンタを戦闘機に見立てたのは御手柄。



西瓜にも表と裏の
顔がある 三 春
寸評：これはなんだ？と一瞬戸惑う。西瓜の皮を削ってつくった今はやりのフルーツアートだ。どちらが表でどちらが裏かなどの詮索は野暮というもの。

今月のリハビリ教室 (句の推敲)



わしもやり息子もやった

観察日記 矢澤正二

寸評：綺麗な写真だが、句は
上5中7が通俗的で稚拙。下5
が字余りなのも気になる。。

→朝顔の観察日記孫も付け



老病死 見詰めた病舎

消えてゆく 大月 和彦

寸評：なかなかシリアスな写真と
句だ。沈鬱を避け句はやや軽めに

→おおぜいを看取りし病舎

リニューアル

付け句

このページはどんな写真にも良い句がつけられるように
訓練するコーナーです。



今月は中村さんの出題で、インドの蛇使いの写真です。

- | | |
|-----------------------|-------|
| 1) 笛吹いて踊らぬ妻と踊る蛇 | 中村 晃也 |
| 2) ひも固く吹けど踊らぬ高齢者 | 下山 健夫 |
| 3) 世が世ならわしマハラジャでこれキング | 三 春 |
| 4) 撮るのみで投げ銭もせず去る男 | 池田 隆 |
| 5) 必殺のコブラツイスト産みの里 | 大越 浩平 |
| 6) この蛇の行く末哀れコブラ酒 | 松田 昌康 |

寸評：

- 1) 相変わらずの細君への一言。踊ってくれる妻が欲しかった。
- 2) 政府の消費拡大の声に同調しない金持ち高齢者を詠った。
- 3) マハラジャも王様、蛇もキングコブラ。
- 4) チップを出さずに撮影だけする客を睨む眼の怖さ。出題者への皮肉か？
- 5) コブラツイストはプロレスの必殺技。
- 6) 散々働かされて、最後は酒にされるコブラの悲哀。
作者は酒の肴にされた、自分の境遇を嘆いているのかも知れない。